

# 「こんにちは！知事です（松山地方局）」

日 時 平成15年10月17日（金）13:00～15:00

場 所 松前町役場

## 参加いただいた方々

	住所	氏 名		住所	氏 名
1	伊予市	岡部 智臣	11	松前町	郷田喜久江
2	〃	片岡 英富	12	〃	野村 温子
3	〃	長戸 和子	13	〃	松田 福卓
4	〃	西岡 義雄	14	〃	三好正次郎
5	〃	松田優美子	15	中山町	上岡 貞義
6	〃	水口 敬	16	〃	兵頭キクエ
7	〃	山本知和子	17	〃	宮田 淑子
8	松前町	足立 廣子	18	双海町	大田 薫子
9	〃	加納 力也	19	〃	中田サダ子
10	〃	嘉村 信二	20	〃	福岡 明子

## 懇談の概要

### 引きこもり障害者の受入場所の設置

リストラに合い、引きこもりになった障害者を受け入れる場所として、小規模作業所を作りたい。どこか空いている場所に作ってほしい。

退屈している高齢者の交流の場としていきいきサロンを作っているが、高齢者と障害者が共に集まれる場所づくりをしてほしい。

(知事)

老人のための空いている民家の改修に補助金を出す制度を作った。小規模作業所にも使える。既存の施設を使うべきである。

今の意見は、施策として是非実現させたい。

[対応]

県は、昭和 57 年度から、一定の要件を満たし、市町村の補助を受けている共同（小規模）作業所に対して運営費の補助を行っている。作業所の建物及び設備については、利用者の安全衛生に配慮されていれば、既存の建物や借家でも差し支えない。

高齢者と障害者の交流の場は、今年度創設した NPO 法人やボランティア団体等が民家等を改修して整備する場合の補助である「高齢者やすらぎの場整備支援事業」が活用できる。

具体的な要望は市町村と協議してください。

### 円滑な商工会議所と商工会の合併

市町村合併に伴い、商工会議所と商工会が合併する場合、どちらかが解散して合併することになる。スムーズに合併できるのか。

(知事)

市町村の場合は飛び地でも合併できるが、制度の問題としての対応を検討する。基本的には、商工会を解散して、商工会議所に統合するのが正しいと思う。

[対応]

商工会議所と商工会の合併は、法整備されていないため、いずれかを解散する必要がある。県も各県ともに法整備を要望しているが、国は商工会議所、商工会の設立趣旨等の理論整理が必要であることから、当面、法整備の予定はないとのことである。隣接していない商工会同士の合併も商工会法上認められていないので、法改正の必要性を国と議論しているが、現在のところ改正の動きはない。各地域の検討状況を踏まえ、国に法整備を働きかけるとともに、補助金交付要綱の改正等、種々の面からスムーズな合併を支援していく。

## 過疎地、へき地対策

過疎地、へき地対策として、人口だけでなく面積を考慮して、目配りが行き届いた政治を行ってほしい。

(知事)

市町村に対する交付税は人口、面積、地形で算定している。これまでのような中央依存より、合併によって足腰を強くすることで行政の効率化が図れる。住民一人当たりの職員数は減るので、目配りは減って行くが、行政が困っているところにいかに配慮していくかにかかっている。

## 市町村合併のメリット、デメリット

松前町長からは何回か合併の話を知事から聞いているが、市町村合併のメリット、デメリットを知事から聞きたい。

(知事)

市町村財政は圧倒的に中央に依存しているが、国も赤字国債を発行している状況である。

合併のメリットは、無駄なものを作らないで、集約して有効なものができることである。

デメリットは、職員の数が減るので、住民との接触度合いが減り、住民の声が反映されにくくなるが、その点は我慢してもらうしかない。

全てを税金でやっていく時代ではない。住民の協力でカバーしてもらい、乗り越えていかなければならない。

## 市町村合併後の伊予庁舎の存続

市町村合併後の伊予庁舎はどうなるのか。松山への道路は込むし、駐車場もない。へき地では車なしでは生活できないので、できれば残してほしい。

(知事)

庁内で検討しており、伊予庁舎、丹原庁舎は廃止の方向である。

伊予庁舎は松山地方局に統合するが、農業改良普及指導員は、地元には滞在するような工夫をする。

県もスリム化する必要がある。

## 知事への政策提言メール

知事への政策提言のメールは、知事が全て見て、回答しているのか。

(知事)

電子メールはたくさんきているが、全てに目を通し、指示もし、返事を出している。ただ、内容によっては、事実を確認して検討するので、返信に時間がか

かることをお許しいただきたい。

#### ボランティアの事務所の設置

ボランティア組織づくりを考えているが、場所が必要である。役場に置ければいいのだが。

(知事)

県は旧消防学校をボランティア活動団体に無料で貸している。町としてもやるべきである。空き施設をボランティア団体に貸してもらえるように双海町に相談してはどうか。

#### 老人クラブの助成金の維持

昨年度に比べて老人クラブの助成金が減額されているが、市町村合併に伴い均等割の助成金などが単純に減額されないようにお願いしたい。

(知事)

市町村割の補助金はたぶん減額の対象になってくる。御意見は担当部局に伝える。

#### 健康な高齢者の活用

健康な高齢者のための生きがい対策を積極的に指導してほしい。  
高齢者の豊富な経験、知識、技能を次世代に託すため、高齢者の活用を若い世代に働きかけてほしい。

(知事)

貴重な御意見でありがたい。今、財政を圧迫しているのは、老人医療、年金、介護給付である。要介護認定を受け、施設に入れば月33万円の介護給付費が必要になるが、在宅介護であれば月9万円で済む。地域がグループホーム、デイサービスなどで助け合えれば、税の負担は減る。元気なお年寄りが痴呆性や障害のあるお年寄りを助け合う仕組みとして、「愛と心のネットワーク」を愛媛県で作りたいと思っている。

#### 寝たきり老人の在宅介護促進

民生委員として、在宅介護を目的に、元気だが独りで家にこもっているお年寄りを集めたサロンを月1回ボランティアで開いている。初年度は県から助成金をもらえたが、次年度からはもらえなくなった。

寝たきり老人を在宅で介護したいが、入浴で困っている。機械浴は2週間に1回の決まりがあるが、もう少し融通を利かしていただければ、在宅で介護しやすい。

(知事)

奨励的な補助金である。県で計画中の在宅介護研修センターで入浴サービス等の研修を重点的に行うので、地域で支え合っていければ、規定以上の入浴サービスも可能になってくると思う。おっしゃるような方向への取り組みをしていく。

#### 子供の育成

一人で遊ぶ子供が増えている。また、核家族化により家族の団欒がなくなっている折、合併が進むと、尚更、深刻になると思う。老人と子供の交流ができる場があればいいと思う。

(知事)

昔は、6年生のリーダーがルールを決め、それを守っていくなど、子供の群れ社会にはルールがあった。今は、子供社会のルールを教えてくれる人がいない。遊びの勧めをしないと変わっていかない。以前のような子供社会を作っていければいいと思う。

#### 幼児教育

いじめ、非行、不登校が毎日のように報道されているが、幼児教育が大切であると思う。子供と親の接触が少ないので、幼稚園、保育所の先生の質を向上させる必要があると思うが、幼児教育への対策はあるのか。

(知事)

小さい頃に何を教えるのかは難しい。行動判断基準を作っていくものが今はない。個人的には、教訓的なものが教材として活用されたいと思う。

#### 商店街の活性化

商店街活性化のため「町づくり郡中」で本の出版等の活動している。商店街活性化に力を貸してほしい。

(知事)

商店街振興に様々な支援を行っているが、地域でアイデア、構想を出してもらわないとバックアップのしようがない。意見を集約して方向性を出してほしい。

#### 大連市の情報収集

中国の大連市に関する情報及び優遇措置を教えてください。

(知事)

大連市にある貿易振興会大連出張所に県職員を派遣している。経済労働部産

業政策課に連絡していただきたい。

#### 県外への県産品のPR

東京新橋にせとうち旬彩館があるが、全国に愛媛産品を強くアピールしていただきたい。

(知事)

これまでは県外への発信が足りなかった。県外への宣伝に努力したい。

#### 愛媛産しいたけの消費拡大

しいたけ栽培を30年やっているが、価格の低迷で栽培者が減っている。無農薬で安全なしいたけの消費拡大を図るため、愛媛産しいたけをPRしてほしい。

(知事)

農産物自由化により安価な中国産が入って来て、大変であることは十分認識している。大きな流れのなかで仕方がないが、県としては、地産地消のキャンペーン、地元産品を使用した学校給食に取り組んでいる。「愛媛産には愛がある」のキャンペーンで最大限の努力をして参りたい。

#### 国道378号線の歩道拡張

建設業の団体で国道378号線のごみ拾いをボランティアで行っているが、歩道が狭い。子供も登校しているので、歩道を広げてほしい。

(知事)

ボランティアでごみ拾い活動を行っていただいていることに感謝する。土木部は、なるべく歩道をつけるようにしている。予算の問題で充分な要望には応えられていないが、努力を続けている。

#### 自然に配慮した土木工事

工事により自然環境が悪くなり、精神的にゆとりがなくなりつつある。費用と時間がかかっても、自然にやさしい工事をしてほしい。

(知事)

御意見のような反省がでてきている。河川工事は、可能な限り自然工法が取り入れられている。環境を大切にすることは重要である。

#### 公民館の充実

地域づくりのためには、生涯学習の拠点になる公民館の充実が大切である。青少年の健全育成の場であり、地域にあった公民館づくりが望まれる。

(知事)

公民館の運営は市町村の問題であるが、税金依存でなく、ボランティアの参加で取り組んでもらえれば、行政の負担が減る。

#### 愛護班活動への助成

愛護班で地域の大人と子供にふれあいのための活動を行っており、活動費が必要なため国の子供夢基金に申請したが、対応が遅かった。県で愛護班をバックアップする体制が取れないのか。

(知事)

地域の問題として市町村が取り組むべき問題であるので、県での予算化は難しい。市町村に指導するのが限度である。

#### 市町村合併後の学校給食でのアレルギー児童対策

現在、伊予市では自校方式で学校給食を作っているが、合併によりセンター方式になる。松前町にある給食センターを視察し、多くの疑問は解決したが、アレルギー児童への対策は、人員が不足しているため充分でないと感じた。

(知事)

市町の問題であり、県が指導しにくい。全国的に財政的な事情で共同調理場方式になっていったが、アレルギー食の問題は当然解決すべき問題である。

#### 新規就農者への補助制度の運用

農家が高齢化しており、若い子がいらない。子供が新規就農するための資金がないので、県に補助金の申請をしたいが資産がなければ資金が借りられない。

(産業経済部長)

一定の資産がなければできないことになっている。退職者も新規就農のための研修を農業大学校で受けられる。地方局に来ていただき、具体的に相談させていただきたい。

(知事)

可能な限り力になれるように努力する。地方局にお越しいただきたい。